

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
コロナ禍で既存の活動の中止が増え、地域住民同士の繋がりが希薄になっている。これにより地域の困りごとが、さらに見えにくくなっている。 見えにくいニーズを抽出するために、地域の方誰もが安心して集える場所を創出していく。 併せて、地域が一体となって課題に対して考え取り組むことができるよう、様々なネットワーク作りをする。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	誰もが参加できる多世代食堂を開催し、世代間交流を図るとともに、困窮等の見えにくいニーズの抽出を目指す。食堂の開催のみならず、フードドライブも視野に入れ、各団体・企業へ協力依頼を行い、地域全体で盛り上げる様取り組む。
<input type="checkbox"/>	■	認知症の人や家族はもちろん、認知症に興味があれば誰でも参加の出来る認知症カフェの立ち上げを行う。住民主体の集いの場にするため、認知症カフェボランティアによる開催とし、ボランティアの後方支援を行う。カフェは、「集い、学べる場」を目指す。
<input type="checkbox"/>	■	2019年度地区社協共催「白根地区住民アンケート」にて募集し組織化したボランティアについて、活躍の場を展開していく。 地域の困りごとに対応出来る仕組みづくりと、地域活動の担い手の創出、という二つの柱で進めていく。
<input type="checkbox"/>	■	白根地区支え合い連絡会定期開催の支援をする。2ヶ月に1回の開催を目指し、開催しない月には企画委員会にて次回開催の準備をする。今年度は各団体の情報交換のみにとどまらず、協働したり、共に検討する場となるよう働きかけを行う。
<input type="checkbox"/>	■	SOSネットワーク協賛店について、地域を支えるネットワークの一つとして機能させるため、協賛店の連絡会の企画・開催を実現する。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<ul style="list-style-type: none"> ・世帯交流の場の創出の為、多世代食堂運営を計画したがコロナ禍で開催出来ない期間は、「生活用品おすそ分け会」を開催した。地域から献品を募り、地域へ返還する地域支え合いの仕組み作りが行えた。地域企業の協力を仰ぎ食堂では無く食材キットを作成、配布も実施し、地域連帯共助に取り組めた。次年度以降の担い手も育成中で白根地区社会福祉協議会の多世代食堂運営が円滑に実施出来るようバトンを渡すことも出来た。 ・認知症を学ぶカフェ「スマイルカフェ」を立ち上げ、団体として自主運営に至った。町内会館での定期開催が継続している。地域での認知症事業に関するランドマーク的位置に成る様、今後も後方支援していく。 ・ボランティア連絡会を3回開催し地域ニーズとのマッチングを行い、地域行事に参加することで地域愛を引き出した。ボランティア連絡会の中から多世代食堂の立ち上げメンバーも創出出来た。 ・白根地区支え合い連絡会の事務局として携わることで、担当エリア内の団体、事業所、の実情が把握出来き発表の場の支援などに取り組めるようになった。 ・SOSネットワーク協賛店にも、地域ケア会議に参加していただき、地域で起きている認知症の課題に関して、具体的な役割を伝えることが出来た。「主体的な地域との関り」に関しても共有できた。 		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの声を受け、また、地区社協との連携を模索する中で実施した「多世代食堂」は、限られた団体・関係者で実施するのではなく、近隣企業や多くの地域住民を巻き込んだ事業となっています。今後は、ケアプラザとして継続的に活動支援を行っていただくとともに、この事業を通じてできた近隣企業・新たな人材との繋がりをこの事業に限らず活かしていただきたいと思います。ケアプラザが潤滑油としての役割を果たし、つながりの輪が地域の中に広がっていくことを期待しています。 ・ケアプラザ主催の事業や館内の掲示等を工夫したことで、住民の方の地域参加のきっかけづくりや自主活動の支援につながっています。今後も、地域特性や地域ケアプラザの強みを活かした取組を期待しています。 ・今年度は認知症カフェの立ち上げだけでなく、ボランティアチームの自主運営への移行まで行うことができました。来年度も引き続き地域との連携に努めてください。 		

令和3年度横浜市白根地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	福祉サービスご利用に関しては、複数のパンフレットやインターネットを利用して事業所選択への支援を行う。ケアマネジャーの事業所選択に際しては、旭区から提供される居宅介護支援事業者空き情報を提示し、本人、家族の希望に沿った選択が出来るよう助言していく。	全体での個人情報保護研修を年に2回以上実施。また、毎月実施している職員全体研修で、ヒヤリハット事例の共有・検証を行い、個人情報保護に関して、常に自己チェックを促し、事故防止に努めていく。
実績	福祉サービス、ケアマネジャーの事業所選択共に、複数のパンフレットやインターネットの情報を提供しご本人様、ご家族様の希望に沿った選択が出来るよう支援しました。	準職員も含めた職員全員を対象に個人情報保護研修を2回実施。毎朝礼時には個人情報取り扱いに関する唱和を実施。ヒヤリハット事例は常に回覧を行い事故防止に努めました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で要介護状態に至らず暮らし続けられるよう介護予防支援計画を作成する。	住み慣れた地域で、安心して日常生活を営めるように、ご利用者様の意向に沿った適切な自立支援志向型のケアプランを作成する。
職員体制	主任ケアマネジャー(管理者兼務)、保健師、社会福祉士	介護支援専門員:常勤4名(専従3名、管理者兼務1名)
契約者数	契約者数:154件	契約者数:124件

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,099,485	0	16,099,485	15,676,096	423,389	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	118,200	△ 118,200	
雑入	0	0	0	19,870	△ 19,870	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	19,870	△ 19,870	
その他	169,502		169,502		169,502	
収入合計	16,268,987	0	16,268,987	15,814,166	454,821	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,831,847	0	10,831,847	9,274,636	1,557,211	
本俸	8,807,197		8,807,197	7,964,824	842,373	
社会保険料	944,019		944,019	704,914	239,105	
手当計	982,181		982,181	530,988	451,193	
健康診断費	6,899		6,899	3,819	3,080	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	91,551		91,551	64,528	27,023	
その他			0	5,563	△ 5,563	
事務費	1,619,888	0	1,619,888	1,840,192	△ 220,304	
旅費	14,813		14,813	6,915	7,898	公共交通機関交通費、ガソリン代
消耗品費	211,797		211,797	147,814	63,983	事務用品 他
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	418,240		418,240	490,484	△ 72,244	複合機カウント料金
通信費	687,884		687,884	718,965	△ 31,081	電話代、切手代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	56,311	△ 56,311	シャープ2ドア冷凍冷蔵庫
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	34,011		34,011	35,062	△ 1,051	賠償保険料
職員等研修費	424		424	18,431	△ 18,007	地域食堂立ち上げ基礎研修他
振込手数料	51		51	271	△ 220	銀行振込手数料
リース料	74,153		74,153	74,169	△ 16	PC・玄関マット 他
手数料			0	0	0	
地域協力費	12,666		12,666	12,666	0	社会福祉協議会会費、在宅サービス協会会費
その他	165,849		165,849	279,104	△ 113,255	自動車保険料、車両修繕費、消防設備法定点検代他
事業費	530,837	0	530,837	342,996	187,841	
運営協議会経費	42,000		42,000	5,651	36,349	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	488,837		488,837	337,345	151,492	
その他			0		0	
管理費	1,729,230	0	1,729,230	2,666,162	△ 936,932	
光熱水費	415,941		415,941	914,855	△ 498,914	
清掃費	893,562		893,562	1,291,210	△ 397,648	
機械警備費	93,852		93,852	98,252	△ 4,400	
設備保全費	325,875	0	325,875	351,945	△ 26,070	
空調衛生設備保守	112,970		112,970	112,970	0	
消防設備保守	52,140		52,140	52,140	0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0	26,070	△ 26,070	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	160,765		160,765	160,765	0	
共益費			0		0	
その他			0	9,900	△ 9,900	
修繕費	474,000		474,000	50,611	423,389	
公租公課	1,083,185	0	1,083,185	927,463	155,722	
事業所税			0		0	
消費税	1,083,185		1,083,185	927,463	155,722	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	16,268,987	0	16,268,987	15,102,060	1,166,927	
差引	0	0	0	712,106	△ 712,106	

自主事業費 収入	0	0	0	118,200	△ 118,200	
自主事業費 支出	488,837	0	488,837	337,345	151,492	
自主事業 収支	△ 488,837	0	△ 488,837	△ 219,145	△ 269,692	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	22,465,683	0	22,465,683	21,743,598	722,085	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,792,898		5,792,898	5,792,898	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	63,500	△ 63,500	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	0		0	0	0	
収入合計	28,412,581	0	28,412,581	27,753,996	658,585	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,906,249	0	25,906,249	21,895,864	4,010,385	
本俸	17,446,475		17,446,475	12,931,573	4,514,902	
社会保険料	3,441,650		3,441,650	2,924,365	517,285	
手当計	4,495,291		4,495,291	5,628,818	△ 1,133,527	
健康診断費	73,000		73,000	17,459	55,541	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	449,833		449,833	376,962	72,871	
その他			0	16,687	△ 16,687	
事務費	714,426	0	714,426	881,734	△ 167,308	
旅費	38,636		38,636	31,721	6,915	公共交通機関交通費、ガソリン代
消耗品費	100,314		100,314	75,684	24,630	事務用品 他
会議滞在費			0	0	0	
印刷製本費	113,263		113,263	130,381	△ 17,118	複合機カウント料金
通信費	241,328		241,328	230,182	11,146	電話代、切手代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	14,969	△ 14,969	シャープ2ドア冷凍冷蔵庫
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	26,443		26,443	9,320	17,123	賠償保険料
職員等研修費	424		424	18,808	△ 18,384	地域食堂立ち上げ基礎研修他
振込手数料	51		51	51	0	銀行振込手数料
リース料	61,201		61,201	61,191	10	PC・玄関マット 他
手数料			0	0	0	
地域協力費	32,666		32,666	32,666	0	社会福祉協議会会費、在宅サービス協会会
その他	100,100		100,100	276,761	△ 176,661	自動車保険料、車両修繕費、消防設備法定
事業費	1,206,240	0	1,206,240	910,857	295,383	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	107,240		107,240	49,948	57,292	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,018	982	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	203,891	111,109	
その他			0	0	0	
管理費	459,666	0	459,666	709,032	△ 249,366	
光熱水費	110,565		110,565	243,189	△ 132,624	
清掃費	237,528		237,528	342,940	△ 105,412	
機械警備費	24,948		24,948	29,348	△ 4,400	
設備保全費	86,625	0	86,625	93,555	△ 6,930	
空調衛生設備保守	30,030		30,030	30,030	0	
消防設備保守	13,860		13,860	13,860	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	6,930	△ 6,930	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	42,735		42,735	42,735	0	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
修繕費	126,000		126,000	13,453	112,547	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	28,412,581	0	28,412,581	24,410,940	4,001,641	
差引	0	0	0	3,343,056	△ 3,343,056	

自主事業費 収入	0	0	0	63,500	△ 63,500	
自主事業費 支出	576,240	0	576,240	406,857	169,383	
自主事業 収支	△ 576,240	0	△ 576,240	△ 343,357	△ 232,883	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1：地域活動交流事業
- 2：地域包括支援センター運営事業
- 3：生活支援体制整備事業
- 4：共催（1と2）
- 5：共催（1と3）
- 6：共催（2と3）
- 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
- 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者
- 2：障害児・者
- 3：養育者及び乳幼児
- 4：子ども・青少年
- 5：地域
- 6：事業者
- 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	白根ケアプラザ大学	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	継続的に行える健康増進の講座の展開。新しい繋がり通いの場となり、地域との関わりが増える。	1:高齢者		地域住民を対象に、ロコモ予防・認知症予防のお手入れ・栄養・片付け・交通等の様々な観点から「健康な生活」について学べる講座の実施。(6/16、7/21、8/18、9/15、10/20、11/17、12/15、2/16) →1/19感染症対策のため中止	8	110
2	夫婦・親子で考える終活TODOリスト～家族のために役立つ法制度～	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	遺言・相続・後見制度について学び、自身と家族の望むエンドステージに活かす	5:地域	1	2回連続講座、前半・司法書士による講座、後半・個別相談会 第1回:家族に負担をかけない老後の生活のために(6/26) 第2回:自分と家族を守る遺言・相続(7/24)	2	30
3	行政書士サロン・個別相談会(終活サロン・大人の宿題)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度や公正証書、エンディングノートなどについて、茶話会を通して学んでいただくことで身近に感じて頂く。	1:高齢者		法律等に関する相談に、より専門的に対応できるよう実施。成年後見制度の普及啓発と相続や遺言を通じ、地域ケアプラザの総合相談窓口としての役割を普及する。(8/30、11/30)	2	12
4	世界アルツハイマーデー認知症サポーター養成講座(認知SHOW TIME)	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	アルツハイマーデー月間において認知症に関する企画を実施し、認知症の正しい理解と正しい対応について広く普及啓発する。	5:地域	1	認知症サポーター養成講座を実施。横浜市の現状、認知症の特徴、病理、認知症の方への対応・サポーターの役割等を学んで頂く。(9/20)	1	24
5	白根地区センター認知症サポーター養成講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	白根に住む高齢者が多く通う白根地区センターにて認知症サポーター養成講座を実施する。	5:地域	1	白根地区センターにて、地域住民向けに認知症サポーター養成講座を実施。実際の状況に沿った内容の寸劇や、認知症の方との接し方についてグループワークを行う。(9/25→感染症対策のため中止)	0	0
6	エンディングノート講座(落語で笑って学ぼう・エンディングノート)	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	近隣地域のケアプラザ共催で講座を行うことで、より多くの方にエンディングノート、終活について普及啓発を行う。	5:地域	1	今宿西CP、上白根CP、ひかりが丘CPと共催で、行政書士による落語で終活・エンディングノート講座を実施。ZOOMにて各ケアプラザに同時配信。(7/30)	1	15
7	スクエアステップ	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	令和元年度行ったスクエアステップ体験会で、キーパーソンの発掘と参加者を多く募ることができた。今年度白根エリアでスクエアステップの元気づくりステーションの立ち上げを行う。	1:高齢者		福寿荘と共催し、新しくスクエアステップの元気づくりステーションを作る。5/7、5/21、7/5、7/19、8/2	5	89
8	本気でやりたいスマホ講座	令和3年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	コロナ禍で外出や交流がままならなかったことを振り返り、新たな交流、連絡手段として、スマホの活用を提案する。	1:高齢者	5	スマホの有効性と、難しさのハードルを下げる内容の講座を開催する。6/9	1	24
9	初めてのスマホ講座	令和3年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	スマホの使い方を習得し、新たな交流、連絡手段として活用していただく。また、講座の後、自主サロンとして活動していただく。	1:高齢者	5	初心者を対象。自分のスマホを使い、実践的な使い方を学ぶ。7/8.7/14.7/30.8/3.8/10	5	118
10	認知症カフェ立ち上げ(認知症を学ぶ・スマイルカフェ)	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	白根エリアに、地域住民が主体となり運営する認知症カフェを立ち上げる。	5:地域		昨年度の「認知症カフェボランティア養成講座」参加者を中心に、認知症カフェの設立にあたり企画・準備・運営を実施する。9月より毎月第4日曜日実施。	12	137
11	シニアボランティア登録研修会	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	カードを取得してボランティア活動生きがいが、健康づくりに活かしていただく。	5:地域		地域に参加を募り、シニアボランティアポイント登録研修会事務局の方法に沿って開催する。7月29日開催	1	5
12	癒し市場～ゆかいマルシェ～	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護にかかわっている家族等が、社会的に孤立することのないよう、「学ぶ・共有・癒し」を目的に集える場を提供する。	5:地域		介護についての研修を実施。その後介護者同士の交流を行う。 第1回オムツ・パッド講座(6/17) 第2回福祉用具講座(10/21) 第3回介護保険講座(2/17)	3	28
13	公開講座「糖尿病とその予防」	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	医療機関と連携しながら、地域住民へ向けに介護予防・健康増進の啓発を行う。	1:高齢者	5	横浜旭中央総合病院の栄養士による講座。(10/14)	1	14
14	カレーで栄養改善	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	普段食べているカレーをどうすればもっと効率よく栄養を摂ることが出来るのかを学び健康の増進を図る。	1:高齢者	5	栄養士からレシピを教わり参加者で作る食事をする。 9月→感染症対策のため中止	0	0
15	団体説明会	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体Ⅰ、団体Ⅱ向けに説明会を通して、施設利用についての確認事項等を周知する。	5:地域		団体Ⅰ・Ⅱに分けて実施する。感染症予防のための施設利用方法の確認等を行う。	1	38
16	ケアプラザ掃除	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティア活動の意味や大切な意識を持って頂くことを目的に、福祉保健活動の一環として全登録団体に行っていた。	5:地域		密を避けるため少人数制で3回に分けて実施する。各部屋の清掃項目、担当グループをアナウンスして安全に作業を行う。	1	16

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	空き室地域へひらく・活用づくりプロジェクト	令和2年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	登録団体に空き室を活用していただけるようシステム化する。また、空いている部屋を利用したいという、地域の方や学生・子育て中の方等に、安心安全にご利用頂けるよう、集いの場所として提供する。	3: 養育者及び乳幼児	5	空き室利用の仕方を周知していく。また、安心安全に利用できるようルールとの周知と実施内容の徹底を行う。	13	79
18	にこにこサロン	平成27年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	親子・参加者間に交流の場を提供すると共に、ボランティアも交えて企画・運営を行うことで、子育て支援の在り方を共有し、充実させていく。	3: 養育者及び乳幼児		絵本の読み聞かせ、ミニイベント等を開催し、参加者間とボランティアとの交流を行う。 毎月第3火曜日	9	170
19	みんなでゆうゆうサロン	令和3年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	地域の方や高齢者が外に出る機会を提供し、サロンに集うことで、仲間づくりと交流を深めることを目的とする。	5: 地域	1	近郊でのバードウォッチング、俳句等室内での活動、ノルディックウォーキングなど、参加者の意見も取り入れて、興味のある内容を企画する。 毎月第2金曜日	11	100
20	ベビーブラザ	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	赤ちゃんのいる家庭の方やプレママ世代に、子育てや家庭環境に関わる不安や悩みを解消出来るよう支援する。	3: 養育者及び乳幼児		地域の子育て世代のニーズに合わせて、離乳食やベビーマッサージ・保育園情報等の内容とする。 毎月第4金曜日	8	111
21	ママヨガdeハーブティー	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	出産後の産後ケアを行い、赤ちゃんとのスキップを図ることを目的とすると同時に、参加者間の仲間づくりと交流の場とする。	3: 養育者及び乳幼児		産後の身体のケアとして効果のあるヨガを中心に、赤ちゃんと一緒にできるヨガを組み合わせて行う。心身ともにリラックスした中で、子育ての情報交換等を行う。 毎月第1金曜日	9	62
22	おやこリトミック&シェアひろば	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	音楽に合わせて身体を動かし、心身の成長を促すと共に、親子のコミュニケーションを築き、育むことを目的とする。	3: 養育者及び乳幼児		カスタネットや鈴等、簡単な楽器を使用して、歌や踊ることでリズム感を養う。リトミック後に、参加者同士が子育ての情報交換等を行う。 毎月第1火曜日	11	105
23	元気キッズたいそう	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	運動する機会が減少している子ども達に遊びながら全身運動を行い、運動能力、体力の増進を図り、身体を使って遊ぶことの楽しさやコミュニケーションの取り方を理解してもらうことを目的とする。	4: 子ども・青少年		ストレッチや動物模倣、ラダー・ボール等を用いて、ウォーミングアップから主運動、クールダウンまで一連の運動内容とする。 毎月第4木曜日	10	61
24	書初め教室	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の子育て支援と、書初めを通して日本古来の伝統文化を継承すると同時に、幼児・小・中学生を持つ家庭にケアプラザを周知するきっかけとする。	4: 子ども・青少年		習字が初めての幼児の書初め体験と、学校の書写に対し小・中学生の冬休みの課題に対応したアドバイスを行い、書道に親しみ、意欲的に取り組めるような内容とする。12/27、1/5	2	29
25	まちを知らう! ふるさとウォーキングvol.18 里山ガーデンウォーク	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者や地域の方に外に出る機会をつくり、ウォーキングを通して健康作りと仲間づくりの場を提供する。	1: 高齢者	5	花と緑を愛する人の心をつなぎ、自然環境を育む横浜市の取組「ガーデンネットワーク 横浜2021」最大の見どころである里山ガーデンを訪れる。ハマトレサポーターズ白根協力の準備体操を実施。5/6	1	10
26	ズンパゴールド	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者に向け、楽しみながら運動し健康寿命を伸ばすことを目的とする。1つのジャンルにとらわれずに複数の種目を取り入れることで、運動の苦手な方も参加できるようにする。	1: 高齢者		ラテン系音楽のリズムに合わせて筋肉を鍛える。普段あまり使わない筋肉を動かしながら、インナーマッスルを鍛え健康で美しい身体をつくる。 6/10、7/8、8/12、9/9	4	60
27	つるしびなまつり	平成28年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の方の手作りのつるし飾りやひな飾り、和小物等を展示し、地域の方の憩い・交流の場を目的とする。	5: 地域		昨年度同様にエントランスから廊下、壁面を利用して、3月1日から一定期間開催・展示する。密にならず、楽しめる内容の利用方法を提示する。	1	495
28	むくどりの家新年交流会	令和元年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障がいのある当事者との交流を目的とし、地域での居場所としての役割を持つ。	2: 障害児・者	5	コロナ禍でもできる内容で、むくどりの家音楽サークルの発表やボランティアさんの趣味の発表、歓談、お楽しみ会を実施する。→感染症対策のため中止	0	0
29	うどんマイスター2021フォローアップ	令和2年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	地域で活躍できるボランティアの育成とフォローアップを目的とし、現マイスターとの交流・協働を図る。	5: 地域		感染症の為延期になっている部分の開催。9月頃、講師を招いて技術の復習。今後の活動方法をメンバーと共に検討していく。	1	5
30	うどんマイスター2021	令和2年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	地域の居場所づくりのきっかけと地域で活躍できるボランティアの育成・フォローアップを目的とする。	5: 地域		後方支援 活動場所の提供、担い手の確保等、企画・相談を共に行う。	1	8
31	白根タメロ倶楽部	平成28年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	4月より自主化になり、地域主体の活動が円滑に行えるよう支援を行う。	5: 地域		後方支援 講師のアコーディオンの伴奏に合わせて合唱する。男性限定の歌声サロンの広報支援。 毎月第1土曜日	9	74
32	和布あそび	平成29年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	昨年度自主化になり、地域主体の活動が円滑に行えるよう支援を行う。	5: 地域		後方支援 和布を利用した小物やつるしびなを作成する。つるしびなまつりでの作品提供やボランティアも依頼する。 毎月第4土曜日	10	127
33	お習字クラブ	令和2年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	昨年度自主化になり、当番制で保護者全員が関わりを持ち、地域主体の活動が円滑に行えるよう支援を行う。	4: 子ども・青少年		後方支援 メンバー募集、体験会などの広報支援。 毎月第2・3火曜日	10	107

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
34	プログラミングこどもサロン	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	昨年度自主化になり、当番制で保護者全員が関わりを持ち、地域主体の活動が円滑に行えるよう支援を行う。	4:子ども・青少年	5	後方支援 メンバー募集、体験会などの広報支援。 毎月第1土曜日	1	13
35	おやこたいそうハッピー	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	4月より自主化になり、当番制で保護者全員が関わりを持ち、地域主体の活動が円滑に行えるよう支援を行う。	3:養育者及び乳幼児		後方支援 メンバー募集、体験会などの広報支援。 毎月第4木曜日	11	165
36	なかよし支援グループ	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	障害児と保護者、ボランティアを通じ地域の方との交流を図り、ケアプラザを周知することを目的とする。	2:障害児・者		後方支援 月1回のバン作りや課外体験、地域との共催事業を展開する。 毎月第3日曜日	8	123
37	なかよしママランチ交流会	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	なかよし支援グループの活動が自主的に行えるように、主となるメンバーの交流と意見交換を目的とする。	2:障害児・者		後方支援 ケアプラザ内でランチ(実費)をしながら、フリーディスカッションを行い、企画案や企画実施についても、自由に気軽に意見交換ができる場とする。 →感染症対策のため中止。	0	0
38	あさひプレイパークみんなの基地がやってくる	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	身体を使って遊び方を感じ、また遊びの中から親子のスキンシップの取り方を学ぶとともに、参加者親子に交流の場を提供する。	3:養育者及び乳幼児		地域との共催事業 プレイリダーと一緒に、段ボール工作や新聞紙遊び、ねんど遊びなどを実施。	1	18
39	なが〜い恵方巻きみんなで巻いちやお	平成30年度	1:地域活動交流事業	2:優先的に取り組み	地域を盛り上げたい子育てママさんグループの活動を支援する。年中行事を通じ、地域の方との交流を図り、ケアプラザを周知するきっかけとする。	4:子ども・青少年	2, 5	地域との共催事業 長い恵方巻の新記録を目指す。昨年度はコロナ禍でオンライン開催したが、状況に応じた開催方法を検討する。 →感染症対策のため中止。	0	0
40	白根公園ハマトレ体操	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍の中における、交流の場の減少や運動不足による筋力低下を予防する目的。	5:地域		白根公園でハマトレサポーターズ・白根のボランティアの協力を得て毎週月曜日に30分程度の運動習慣を実施していく。また夏休み中の子供の参加も促し多世代の交流を図る。(7/26~8月の毎月曜日、雨天中止)	3	59
41	令和3年度 ジュニアボランティア福祉体験活動 認知症サポーター養成講座	令和元年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域の公立小学校5,6年生が認知症の理解と関心を深め、認知症サポーターとなる。	4:子ども・青少年		白根地区と横浜市の高齢化の現状、認知症の病理、接し方について○×ゲームや寸劇、グループワークで学ぶ。(8/6)	1	14
42	認知症サポーター養成講座 リハビリ千丸台・サロンドイ白根	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	担当エリア内の機能訓練型デイサービス2か所の職員の皆様に認知症サポーターになって頂き、普及啓発を促進する。	5:地域		認知症サポーター養成講座。旭区、白根地区における「認知症を地域で見守る」取り組みについて紹介。ケアプラザと共に、認知症理解について普及啓発に取り組んで頂けるよう働きかける。(10/12、10/19)	2	17
43	ガーデンテラス白根台自治会 出張講座 自治会の取り組みについて	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ガーデンテラス白根台自治会における高齢者への取り組みを支援する。	5:地域		自治会における高齢者に関する取り組みを実施する分科会に向け、高齢者を取り巻く制度や他地区の取り組みについて紹介。(10/23)	1	6
44	白根相友さくら会おしゃべりサロン・出張癒し市場	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	相友さくら会・おしゃべりサロン内の認知症サポーターの方による「介護している人も自分を大切に」との声に応える。	5:地域		地域ケアプラザ内の包括支援センター・生活支援・地域活動交流・居宅介護支援・障害者施設、民生委員等の相談機関の説明を行い、実際に振り分けをゲーム形式で行い確認。(11/18)	1	13
45	あけぼの会講座「ケアプラザってなに」	令和3年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	精神障害者家族の方へケアプラザの機能について周知し、ケアプラザ活用へつなげる。介護保険について知ること、障害制度後の支援について認知できる。	2:障害児・者		「ケアプラザってなに」と題してスライドによる講義とグループワークを実施。「精神疾患における障害年金請求のポイント」として社会保険労務士による講義を実施。12/20	1	19
46	太陽の子白根保育園 認知症サポーター養成講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	太陽の子白根保育園・職員の皆さんに認知症サポーターになって頂く。また、子どもたちにやさしく認知症について伝える手法についても共に考えて頂く。	5:地域		認知症サポーター養成講座。「認知症について未就学児にもわかりやすく伝える」グループワークを実施。3/9	1	6
47	出張相談会@スマイルカフェ	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域のボランティア主催の認知症カフェ・スマイルカフェにて個別相談コーナーを設置。地域包括支援センターの機能について周知し、早期支援に繋ぐ。	5:地域		スマイルカフェ内に、情報コーナー・相談コーナーを設置し、ご相談に対応する。3/20	1	2
48	団体説明会(認知症サポーター養成講座)	令和3年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	施設の利用方法の確認、周知と認知症サポーター養成講座を実施。	5:地域		コロナ禍での施設利用について、貸しロッカー更新案内、福祉活動記録報告書、広報誌のサークル掲示板について、体力測定会等説明を実施。認知症サポーター養成講座を合わせて実施。3/13	1	38
49	ハマトレで健康な体作り教室	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	普段白根エリアで活動しているハマトレサポーターズのスキルアップに加え、地域で少しでも運動に興味がある方を対象に、運動講座を行う。	5:地域		スポーツ協会へ依頼し、ハマトレのステップアップ講座の開催。2/14	1	18

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）					7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
50	夏休み体験会	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの子どもの居場所づくりと様々な体験を通して可能性を発見する。	4:子ども・青少年		ケアプラザで活動している子育て関係サークル(4団体)を実際に体験して興味分野を拡げる。	5	15
51	多世代食堂今日のお昼はシリーズ	令和3年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域住民の居場所づくりと交流、支え合える場を開設するために、地域運営型の仕組みを作り、地域活動の担い手の発掘・育成を支援する。	5:地域	1, 2, 3, 4	多世代食堂と生活用品無料頒布会の定期的な開催。 9/5, 10/3, 11/3, 12/5	4	323
52	白根に多世代食堂を作ろう	令和3年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地区社協主催の多世代食堂立ち上げ計画の担い手としての地域ボランティアの育成講座。	5:地域		自主事業「今日のお昼はシリーズ」への参加、地域食堂の意義等を学ぶ講座、話し合いを通じて目的の共有、運営への意識を育む。	3	42
53	ドキドキハロウィン	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	太陽の子白根保育園と共催にて、地域との交流と子育て世代への支援を目的とする。	3:養育者及び乳幼児		保育園児と地域の親子、ボランティアさんが交流をはかりながら、帷子川周辺をウォークラリー方式で周回し、シールを集めてジャック・オー・ランタンを完成させる、ハロウィンイベントの実施。10/29	1	99
54	不動丸小学校福祉教育	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学校の総合授業を通して、ケアプラザを知ること、地域の福祉活動やつながりを学ぶ。	4:子ども・青少年		不動丸小学校3年3組の総合授業「食品ロス～ゼロプロジェクト」の一貫として、ケアプラザで実施している、多世代食堂、生活用品無料おすそわけ会を紹介するとともに、ケアプラザの役割を紹介する。11/12	1	35
55	横浜紀行 その巻横浜港探訪	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者や地域の方に外に出る機会をつくり、写真撮影を活用することで地域愛を育て、健康作りと仲間づくりの場を提供する。	5:地域		横浜港振興協会主催の横浜港見学会に参加。後日、それぞれの人が撮った写真を持ち寄り、作品の発表、意見交換を実施して親睦を図る。11/19, 11/30	2	26
56	ズンパゴールド2	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で家に閉じこもりがちな高齢者に向け、楽しみながら達成感の持てるエクササイズを体験し健康寿命のUPに繋げる。	1:高齢者		運動が苦手な人でも楽しみながら身体を動かせる高齢者向けに考えられたプログラムで、普段あまり使わない筋肉を動かしながらインナーマッスルを鍛える。12/6→1/17, 2/7, 3/7感染症対策のため中止	1	16
57	まちを知らう！ふるさとウォーキングvol.19 滝ノ川あじさいロードから三ツ沢公園をめざして！	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で引きこもり気味な高齢者や地域の方に外に出る機会を作り、ウォーキングを通して健康作りと仲間づくりの場を提供する。	1:高齢者	5	羽沢横浜国大駅から三ツ沢公園まで、緑と街並みを楽しめる遊歩道等を利用したルートで安全にウォーキングを実施。 12/14	1	19
58	横浜紀行その弐大倉山探訪	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者や地域の方に外に出る機会をつくり、写真撮影を活用することで地域愛を育て、健康作りと仲間づくりの場を提供する。	5:地域		大倉山記念館の見学後梅林にて撮影会。後日、それぞれの人が撮った写真を持ち寄り、作品の発表、意見交換を実施して親睦を図る。2/22, 2/28	2	27
59	まちを知らう！ふるさとウォーキングvol.20 長屋門公園を訪ねて	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者や地域の方に外に出る機会をつくり、ウォーキングを通して健康作りと仲間づくりの場を提供する。	5:地域	1	三ツ沢駅より和泉川沿いをウォーキングし、長屋門公園のひなまつりを見学する。 3/16	1	17
60	就活サポート講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て等で仕事を離職し、社会との接点が減ったことで、孤立感を抱えている方の不安や悩みを解消し、再就職へのきっかけとする。	3:養育者及び乳幼児	5	マザーズハローワークの出張セミナーと保育園やデイサービス、ヘルパー等の福祉介護職の方の体験談を聞く。3/25	1	9